

種別	症状	原因	処置
コンプレッサー (小型往復空気圧縮機)	始動しない	電源(ブレーカー)が入っていない	メインスイッチ、一次電源の確認 ※1
		元電源のヒューズが切れている	元電源のヒューズ点検
		配線太さが規定より細い	配線容量表を参考に既定の長さに取り換え ※2
		タンク内に圧力が有り圧力開閉器が作動しない	空気タンクのエアを抜き始動するか確認
		マグネットSWのサーマルが作動	始動する際の圧力計を確認 ※3
			原因を調べてリセットボタンを押す ※4
	異音がする	単相運転になっている	元電源を必ず切ってからテストを使用して確認を行い。ヒューズ切れは交換
		プーリのガタつき	ハメ直し、または新品と交換
		油量が不足している	油量を確認し、規定量になるまで補充 ※5
		部品の緩み	各部の増し締めを行う
	圧力が上昇しない、 または上昇に時間がかかる	空気弁の不良あるいは異物付着	分解手入れを行い、改善されなければ新品交換
		安全弁からの空気漏れ	新品交換
		ベルトの滑り	電動機をスライドして強く張る、または新品と交換
		アンローダ・圧力開閉器の調整不良	販売会社へ相談
	潤滑油消費量が多い	オイル掻きリングの摩耗	新品と交換
		シリンダおよびピストンリングの摩耗	修理または新品と交換
		油もれ	修理
	音がしない	コードの断線	修理または新品と交換
		圧力開閉器の故障	新品と交換
		電磁開閉器の不良	新品と交換
		電動機の不良	新品と交換
		電磁開閉器のサーマルプロテクタ作動	温度が高い場合は換気を行う
			電圧不足は配線容量表を確認し取り換え ※2
		ヒューズの容量不足	規定のものと取り換え
	電動機がうる 圧縮機が回転しない	電圧が低い	電力会社に相談
		圧力開閉器の動作不良	新品と交換
		電線接続部の弛み	締めなおし

※1 ブレーカー



1次側ブレーカースイッチ例



※4 マグネットスイッチ



※掲載している図及び名称は異なる場合がございます。
詳細は機器に備え付けられている説明書をご参照ください。

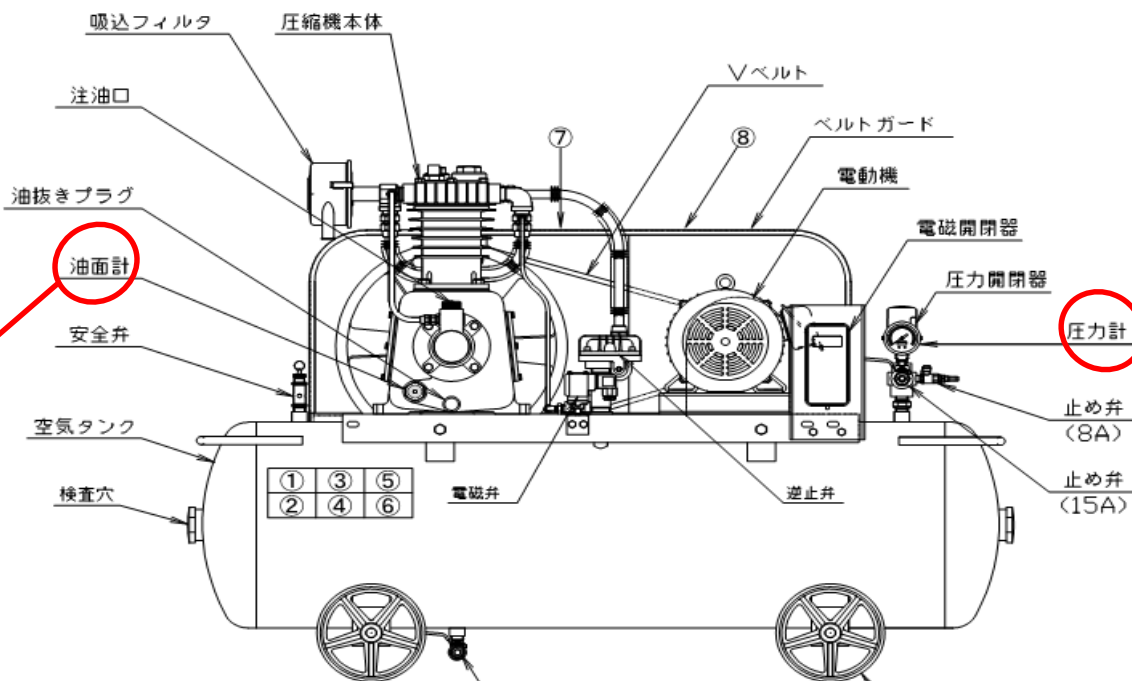
作業を行う際は「必ず電源を切ってから」行ってください

※2 配線容量表

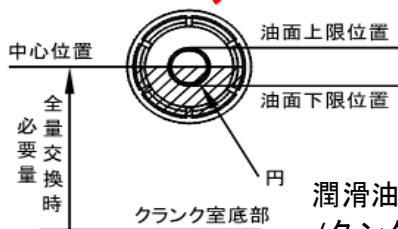
出力 (kw)	電 源	配 線				漏電遮断機 定格電流
		配 線	アース線	容量	容量	
		最 小	太 さ	手元ヒューズ	手元開閉器	
2.2	3相200V	1.6mm ²	1.6mm ² (2.0mm ²)	40A	40A	40A
3.7		5.5mm ²	2.0mm ² (3.5mm ²)	60A	60A	60A
5.5		5.5mm ²	5.5mm ²	75A	75A	75A
7.5		14mm ²	8.0mm ²	125A	125A	125A
11		14mm ²	8.0mm ²	125A	125A	125A

※電動機保護兼用配線用遮断器(モーターブレーカ)の定格電流は電動機・全負荷電流の1.0～1.1倍を目安に選定してください。

各部名称

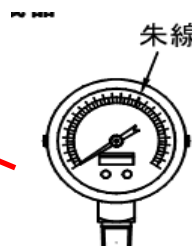


※5 油面計



潤滑油は必ず富士コンプレッサー純正品を使用してください。
(タンクマウント型は粘度68番)

※3 圧力計



圧力計の最高圧力を示す朱線以上に圧力を絶対に上げないでください。

● 潤滑油を油面計の油面で確認し、不足の場合は補給してください。